

SAMPLE



フェアな価格 確かな信頼

ローリーラック

Lorry Rack

☆RIM LORRY RACK PRICE INTELLIGENCE DAILY

★No.5752 Sep 1 2022

Copyright (C) 2022 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

お申し込み >

試読 >

◎お知らせ

○「第7回立ち寄りセミナー ～初秋編～」のお知らせ

リム情報開発はこのたび、季刊誌「エネルギー通信13号」の発行に合わせ、オンラインセミナーをオンデマンドで開催いたします。脱炭素化への取り組みを中心に、エネルギーの最新動向をお伝えいたします。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

◆テーマ：コロナ禍、ロシア侵攻のさなかで、エネルギーは

◆日時：9月13日(火)～15日(木) 10時～21時 オンデマンド配信第1弾

9月20日(火)～21日(水) 10時～21時 オンデマンド配信第2弾

9月27日(火) 10時～21時 オンデマンド配信第3弾

※いずれの日時も同じ内容で配信します。

◆お申し込み：下記のリンクより9月7日(水)までにお申し込みください。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat03/2022/1722945.html>

※料金など詳細については、巻末の「お知らせ」欄もご参照ください。

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

1日のレックス22は、前日から7.27ポイント下落し186.10です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。

各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

東京時間2022年9月1日木曜日17時30分<Assessment Closing Time>

◎東名阪製油所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	千葉	中値	前日比	川崎	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン#	132.3 ~ 133.0	132.65	+2.65	132.5 ~ 133.0	132.75	+1.75	132.70	+2.20
ガソリン	78.5 ~ 79.2	78.85	+2.65	78.7 ~ 79.2	78.95	+1.75	78.90	+2.20
灯油	77.0 ~ 78.0	77.50	+3.00	77.0 ~ 78.0	77.50	+3.00	77.50	+3.00
課税軽油	76.5 ~ 77.0	76.75	+4.00	76.2 ~ 77.0	76.60	+3.85	76.68	+3.93
未課税軽油	77.5 ~ 78.5	78.00	+3.75	77.5 ~ 78.5	78.00	+3.75	78.00	+3.75
A重油	75.8 ~ 76.5	76.15	+1.15	75.8 ~ 76.5	76.15	+0.40	76.15	+0.77
LSA重油	76.3 ~ 77.0	76.65	+1.15	76.3 ~ 77.0	76.65	+0.40	76.65	+0.77

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	4リム中値	前日比
ガソリン#	132.5 ~ 133.5	133.00	+1.00	132.0 ~ 133.0	132.50	+2.00	132.73	+1.85
ガソリン	78.7 ~ 79.7	79.20	+1.00	78.2 ~ 79.2	78.70	+2.00	78.93	+1.85
灯油	77.5 ~ 78.3	77.90	+1.40	78.0 ~ 78.5	78.25	+2.75	77.79	+2.54
課税軽油	76.0 ~ 77.0	76.50	0.00	76.0 ~ 77.0	76.50	+2.50	76.59	+2.59
未課税軽油	77.4 ~ 77.8	77.60	0.00	78.1 ~ 78.4	78.25	0.00	77.96	+1.87
A重油	75.7 ~ 76.0	75.85	0.00	75.9 ~ 76.3	76.10	0.00	76.06	+0.38
LSA重油	76.2 ~ 76.5	76.35	0.00	76.4 ~ 76.8	76.60	0.00	76.56	+0.38

◎東名阪油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	八潮	中値	前日比	横浜	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン#	135.9 ~ 136.5	136.20	-0.05	136.0 ~ 136.8	136.40	-0.10	136.30	-0.08
ガソリン	82.1 ~ 82.7	82.40	-0.05	82.2 ~ 83.0	82.60	-0.10	82.50	-0.08
灯油	80.0 ~ 80.5	80.25	0.00	77.4 ~ 78.0	77.70	0.00	78.98	0.00
軽油	79.8 ~ 80.5	80.15	0.00	75.9 ~ 76.9	76.40	0.00	78.28	0.00
LSA重油	77.0 ~ 77.5	77.25	0.00	77.8 ~ 78.5	78.15	-0.10	77.70	-0.05

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	油槽所中値	前日比
ガソリン#	133.0 ~ 134.0	133.50	-0.25	133.0 ~ 134.0	133.50	-1.00	134.90	-0.35
ガソリン	79.2 ~ 80.2	79.70	-0.25	79.2 ~ 80.2	79.70	-1.00	81.10	-0.35
灯油	77.9 ~ 78.4	78.15	+0.45	77.8 ~ 78.5	78.15	-0.50	78.56	-0.02
軽油	76.4 ~ 77.3	76.85	-0.15	76.6 ~ 77.6	77.10	-0.40	77.63	-0.13
LSA重油	76.5 ~ 77.0	76.75	0.00	76.6 ~ 77.0	76.80	0.00	77.24	-0.02

※ガソリン#は揮発油税込み価格、ガソリンは揮発油税抜き価格

※前日比は中値ベース

※中値は小数点第3位を四捨五入

※製油所の京浜中値は千葉・川崎中値の単純平均値

※4リム中値は千葉・川崎・中京・阪神製油所の単純平均値

※油槽所の京浜中値は八潮・横浜中値の単純平均値

※油槽所中値は八潮・横浜・中京・阪神の単純平均値

※4リム中値を使用した月間平均値はスペシャルコンテンツの4製油所月間平均値と誤差が生じる場合があります

※公式のリム価格月間平均値はスペシャルコンテンツ掲載の数値となります

※ローリーラック価格、輸入採算価格、海陸市況格差、先物のガソリンはレギュラーが対象で揮発油税53.8円を含まず

※軽油は軽油引取り税32.1円を含まず

※原油輸入平均CIF価格の r は修正

※為替は三菱UFJ銀行が午前10時30分に発表する数値を使用

◎東名阪製油所・油槽所出し中値平均値 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	京浜地区	前日比	中京地区	前日比	阪神地区	前日比
ガソリン#	134.50	+1.06	133.25	+0.37	133.00	+0.50
ガソリン	80.70	+1.06	79.45	+0.37	79.20	+0.50
灯油	78.24	+1.50	78.03	+0.93	78.20	+1.12
軽油	77.65	+2.56	76.98	-0.05	77.28	+0.70
A重油	76.15	+0.77	75.85	0.00	76.10	0.00
LSA重油	77.18	+0.37	76.55	0.00	76.70	0.00

※ガソリン#は揮発油税込み価格、ガソリンは揮発油税抜き価格

※A重油は製油所平均値

◎その他の製油所・油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	北海道	中値	前日比	仙台	中値	前日比
ガソリン#	134.5～135.5	135.00	0.00	132.5～133.5	133.00	0.00
ガソリン	80.7～81.7	81.20	0.00	78.7～79.7	79.20	0.00
灯油	79.8～80.8	80.30	0.00	78.0～78.5	78.25	0.00
軽油	78.0～78.5	78.25	0.00	76.7～77.5	77.10	0.00
A重油	76.8～77.0	76.90	0.00	76.0～77.0	76.50	0.00
LSA重油	-	-	-	76.5～77.5	77.00	0.00

油種	四国	中値	前日比	福岡	中値	前日比
ガソリン#	133.2～133.5	133.35	+3.35	134.0～134.9	134.45	+0.45
ガソリン	79.4～79.7	79.55	+3.35	80.2～81.1	80.65	+0.45
灯油	78.5～79.5	79.00	+2.00	79.3～79.9	79.60	+2.10
軽油	76.3～77.3	76.80	+1.10	77.3～78.0	77.65	+0.65
A重油	76.2～76.7	76.45	-0.05	77.1～77.6	77.35	+0.75
LSA重油	76.7～77.2	76.95	-0.05	77.6～78.1	77.85	+0.75

※ガソリン#は揮発油税込み価格、ガソリンは揮発油税抜き価格

◎SS向けスポット卸市況 (円/リットル、ローリー届け、1.0～1.5円運賃圏)

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
ガソリン	133.0～134.0	+3.0	133.0～134.0	0.0	133.0～134.0	+1.0
灯油	79.0～80.0	+3.0	78.5～79.5	0.0	79.5～80.5	+3.0
軽油	109.5～110.5	+3.5	110.0～111.0	0.0	109.5～110.5	+2.0

◎ユーザー向け産業燃料油市況 (円/リットル、ローリー届け、1.5円以下運賃圏、大口向け、9月分)

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
灯油	77.0～78.0	+1.5	79.0～80.0	0.0	79.0～80.0	+0.5
軽油	105.5～106.5	+0.5	109.0～110.0	0.0	109.5～110.5	0.0
A重油	76.5～77.5	+0.5	77.0～78.0	0.0	77.0～78.0	0.0
LSA重油	77.0～78.0	+0.5	77.5～78.5	0.0	77.5～78.5	0.0

※前日比は中値ベース

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の京浜地区は製油所の京浜中値と油槽所の京浜中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の中京地区は製油所の中京中値と油槽所の中京中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の阪神地区は製油所の阪神中値と油槽所の阪神中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の軽油は製油所の課税、未課税、油槽所の単純平均値

※SS向けスポット卸市況およびユーザー向け産業燃料油市況は揮発油税・軽油引取り税を含む

※中値は小数点第3位を四捨五入

◎輸入採算価格（SR船型、韓国出し、関税・石油石炭税込、円/kl）

	北海道	前日比	京浜	前日比	中京	前日比	関門	前日比
ガソリン	94,205	-7,544	93,586	-7,548	93,321	-7,550	92,967	-7,553
灯油	125,261	-6,508	124,643	-6,511	124,378	-6,513	124,024	-6,515
軽油	131,499	-6,339	130,881	-6,342	130,615	-6,345	130,262	-6,346
LSA重油	115,928	-6,415	115,309	-6,420	115,044	-6,421	114,690	-6,424

※SR船型による輸入、LSA重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm

※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況（ペーパー）をベース

◎海陸市況格差（陸上4製油所平均-海上バージ市況）

ガソリン	-2.57	灯油	-0.21	未課税軽油	-2.54
A重油	+0.06	LSA重油	+0.06		

※4製油所平均=千葉、川崎、中京、阪神

◎指標原油

WTI (NYMEX	10月限,	\$/bbl,	8/31	close)	89.55	-2.09
WTI (NYMEX ACCESS	10月限,	\$/bbl,	9/1	5:00pm 東京時間)	89.04	-0.51
ドバイ (ペーパースワップ,		\$/bbl,	9/1	東京夕刻)	94.49 ~ 94.53	-4.82
ドバイ (ペーパースワップ,		円/kl,	9/1	東京夕刻)	83,541	-3,698
ドバイ (ペーパースワップ,		円/kl,	8/26~9/1	平均)	86,875	-731
ドバイ (ペーパースワップ,		円/kl,	8/18~8/24	平均)	82,479	+1,521
東商取ドバイ原油当限		(円/kl,	9/1	引け)	83,100	-1,950

◎原油輸入平均CIF価格（JCC、円/kl、財務省）

22/06/01-30	95,877r	22/07/01-31	99,666r	22/08/01-31	9月15日発表予定
22/06/01-10	92,122	22/07/01-10	99,611	22/08/01-10	97,989
22/06/11-20	95,558	22/07/11-20	99,770	22/08/11-20	9月7日発表予定
22/06/21-30	98,995	22/07/21-31	99,592	22/08/21-31	9月15日発表予定

◎Rim JCC予想値（円/kl）

22/8月	96,750	+90	22/9月	98,240	-10	22/10月	94,420	-1,270
-------	--------	-----	-------	--------	-----	--------	--------	--------

出来高

灯油

輕油

原油取組高 (8/31)

1枚=50kI

出来高

灯油

取組高 (8/31)

1枚=10k1

◎概況・トッパー停止状況=トッパー停止数・1基 停止率1.0%

○陸上ローリー市況

1日の東名阪4リム製油所はガソリンが反発。月内の品薄な商況が続くとの見方が根強いことや、1日限定として一段安で流通していたコスモ石油マーケティング玉がいったん整理されたことを映した。千葉が2.65円、川崎が1.75円、中京が1.0円、阪神が2.0円それぞれ切り上がった。

一方、原油市況の大幅続落や輸入価格との国内製品との対比から、油槽所出荷は弱含んだ。今後の取引に影響出てくるかが焦点となりそうだ。

中間三品は京浜を中心にコスモ石マーケ玉が後退をうけて続伸。中京、阪神は小動きに終始した。地方出荷地では、四国と九州で同社玉の後退で底上げ。北海道と東北はもち合った。

コスモ石油マーケが2日から適用される系列仕切り価格は、補助金支給を差し引くと実質4.3円の引き上げとなった。複数の市場関係者によると、10月以降、ENEOSや出光興産と同じく、木～翌週水曜日に適用変更と示唆されており、適用期限による商機を見出すことができなくなる可能性がある。

○原油調整金の見方

産油国原油調整金の見方をまとめた弊社動画サイトをご覧ください。

リムチャンネルはこちら <https://www.youtube.com/watch?v=sau0BaPGIBM&t=46s>

○ドバイ原油市況

1日の価格動向

ドバイ価格(東京午後5時時点)	94.49~94.53ドル	前日比4.82ドル安
円建てドバイ価格	87.5円	前日比3.7円安
10月の国内製品コスト推定値	88.4円	9月平均比1.1円高
8月30日(火)~9月5日(月)平均推定値	89.5円	前週比0.5円安
8月31日(水)~9月6日(火)平均推定値	88.2円	前週比3.0円安
8月の調整金(アラブ・ライト)	前月比+2.80ドル	プラス2.4円相当
9月の調整金(アラブ・ライト)	前月比+0.50ドル	プラス0.4円相当

※ドバイ原油:リム情報開発「原油・コンデンセート」レポート掲載のペーパースワップ価格を参照

※10月の国内製品コスト推定値:8月26日~9月22日が対象、為替:三菱UFJ銀行TTS、石油石炭税込み

※平均推定値:国内の土日祝日は対象から除外

○元売り市中買い

元売り各社による陸上市場での市中調達には伝わらず。一方、この日の海上市場では元売り向けと思しきガソリン2,600klの大口成約が浮上した。

○9~1月のアセスメント評価対象について

- ① 9月最終発刊日の30日は金曜日のため、30日のアセスメントは10月3日月曜日の受渡物を評価対象とし、2~7日先までの受渡物が参考となります。
- ② 10月最終発刊日の31日は月曜日のため、31日のアセスメントは通常どおり翌日の受渡物を評価対象とし、2~7日先までの受渡物が参考となります。
- ③ 11月最終発刊日の30日は水曜日のため、30日のアセスメントは通常どおり翌日の受渡物を

評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。

- ④ 12月最終発刊日は26日月曜日が最終発行日となります。アセスメントは通常どおり翌日の受渡物を評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。
- ⑤ 2023年1月は5日木曜日からレポートを発刊いたします。

◎北海道(苫小牧・石狩)

○概況

スポット流通玉市況は全油種で横ばい。前日の仕切り価格改定を受けた価格修正が一巡した。月初めの様子見ムードも残り、足元は静観に徹する卸業者が大勢。原油安などで水面下の値下げは見え隠れするものの、それ以上に薄商いの様相が強く、結果的に相場は足踏み状態と複数の市場関係者が指摘している。

○ガソリン

【苫小牧】 前日と同じ80.7～81.7円(揮発油税込み134.5～135.5円)。

もち合った。新規材料待ちで膠着している。2日渡し分は134.5～135.5円で推移。卸業者間の価格提示は点在するものの、向け先を絞った価格だったり、数量限定だったりと面で広く打ち出すディーラーが依然限られており、系列玉対比の高止まりが続く。135.5円超えの商いは聞かれず。向け先によっては132円台など134.5円割れの出物も見え隠れ。ただ、この水準の玉を広く調達可能なディー

ラーは少なそう。安定供給先向けの玉確保を考慮すると、現時点のスポット市場で玉を出す余力はないとの意見もあった。

【小売市況】 札幌市内では一般セルフ店が現在155円程度、量販セルフ店が151.8～153.8円といった水準で推移。フルサービスは158円以上の設定が多い。仕切り価格の引き上げを受けた価格設定の見直しを検討する声があるものの、いまのところ改定は表面化していない。

○灯油

【苫小牧・石狩】 前日と同じ79.8～80.8円。

もち合った。前日に引き続き模様眺めに徹する卸業者が大勢だ。月次枠が定まらず、様子見せざるを得ないとの指摘もある。新規オーダーも総じて低調。いまのところ実需が伸びず、需要期を見越した買い気も聞かれない。商況が冴えない中、このため原油安を意識した販価の下方修正も限定的で商談水準は総じて膠着状態となっている。

2日渡しの苫小牧出しでは民族系大手元売りの製油所出荷玉、在庫玉を扱う複数の卸業者が79.8～80.3円で打ち出している。この価格帯の玉に買い妙味を見出す買い手は限ら

れるとの見方が専らだが、月初めの様子見ムードが色濃い中、表立って下値を試す動きも聞かれない。実際のところ78円台など79.8円を割り込んだ玉もある。

ただ、局所的な提示に留まりがちで広く流通した形跡はなさそうだった。

石狩出しでは広域ディーラー、地場ディーラーによる2日渡し分の売唱えが81～81.3円。苫小牧出し同様、前日並みで推移している。出荷地間の値差を考慮し、アセスメントの上限値は引き続き最大幅となる80.8円に設定している。

【届け市況】 道央圏向けの商談水準は届け80

～81円程度との見方がある。足元で広く調達可能な蔵取り玉の価格帯を考慮し同82円以上で様子を窺うディーラーもいる。ただ、基

本的に買い手の反応は鈍いという。

【気温】1日の札幌市の気温は15時時点で最低が18.4度、最高が20.9度となっている。

○軽油

【苫小牧】前日と同じ78.0～78.5円。

横ばい。前日の仕切り価格改定を受けた販売の見直しが一段落した。9月1日渡しの課税玉では民族系大手元売りの製油所出荷で78～78.3円の出物が残る。安値圏では78円割れで販売打診する売り手もいるが、価格の提示

先はやや少なくなりそうだ。また、未課税玉では78円台前半～78.5円の価格提示が継続。新規材料の一巡で引き続き78.5円が商談水準のひとつの上値を形成している。このほか未課税玉も水面下では一部78円割れの出物が見え隠れする状況となっている。

○重油

【苫小牧】A重油が前日と同じ76.8～77.0円。

もち合った。新規材料の一巡で膠着した。1日渡しのA重油では民族系大手元売りの製油所出荷玉を扱う複数の卸業者が76.8～77円で打ち出している。市中では商談水準のひとつの目安として77円を挙げるディーラーもあり、前日から商況に目立った変化は出ていない。なかには76.8円割れの出物も残るが、販路はやや限られていたもよう。

【産燃市況】9月納め案件では道央圏のリネン関連工場向けA重油が届け75円台前半で妥

結している。民族系大手元売り玉を扱うディーラーによる売りだった。

【官公需】オホーツク教育局のA重油入札がこのほど開札された。主な落札結果は北見地区向けの103.332klが届け82.29円、網走地区向けの99.332klが同81.69円、遠軽地区向けの97.666klが同81.4円、訓子府地区向けの78.196klが同82.59円、美幌地区向けの68.581klが同82円。納期は2023年5月末までとなる。

◎東北（仙台）

○概況

スポット流通玉市況はもち合った。昨報のとおり、1日渡し分では塩釜、青森、八戸の油槽所を中心に民族系元売り玉をベースとした取引が活発に進んでため、その反動減で2日渡しの引き合いは閑散。また、原油市況の大幅続落を背景に8日以降に適用される主要元売りの仕切りは据え置かれる可能性も出てきた。動意が閑散としているなかで、卸業者の多くが様子見しており、マーケットは気配値が先行している。ただ、品薄感の強いガソリンは引き続きショートカバーの調達は継続しており、中間三品に比べて一定の動意が出ている。

○ガソリン

【仙台】78.7～79.7円（揮発油税込み132.5～133.5円）と前日から横ばい。

製油所出荷ルート of 旧米メジャー元売り玉をベースとした複数ディーラーの唱えは

132.5～133円が主流。また、これらの転売では133～133.5円の買い付けも継続して発生していた。一方、域内の届け取引ではEXパイプに換算すると129.5円前後に相当する売買

も散見。「届け売りの商談は別世界。やりようがないので、もっぱら手持ち不足で困ったディーラーへのEXパイプでの安定供給に徹している」（複数の広域ディーラー）との声も寄せられた。

【青森・八戸】1日期限で流通していたOT出荷の民族系元売り玉をベースとした一段安の売りが一掃され、相場は底上げされた。中堅元売り玉、旧外資系元売り玉、旧米メジャー元売り玉をベースとした複数ディーラーの唱えは133.5～134.5円、135円台前半。現

時点では9月の販売枠が確定しないなどの理由もあって、受け渡し数量に応じた取引で132.5～133.5円で売買を進める動きが複数で見受けられた。

【小売市場】1日時点の青森・八戸市内の主流表示は154～156円。実売では151円で給油可能なSSが多い。ただ、廉売店の一部は卸価格の上昇を背景に実売で150円割れを取り止めており、この週末を境に値上げを検討するSSも多いという。

○灯油

【仙台】78.0～78.5円と前日から横ばい。

製油所出荷ルートでは、商社系、広域ディーラーの2日期限の唱えは78～78.5円、78.8～79円前後以上とほとんど変化がなかった。昨報のとおり、塩釜油槽所で流通していた民族系元売り玉とみられる一段安の出物にオーダーが集中。2日渡しの引き合いは総じて閑散としており、足元では多くの卸業者が様

子見を続けていた。

【青森・八戸】旧外資系元売り玉、民族系最大手玉、中堅元売り玉をベースにした複数ディーラーの唱えは79～79.5円を中心とした唱えを維持。このうちの数社が78円台後半まで下値を探ってオーダーを喚起しているにとどまった。

○軽油

【仙台】76.7～77.5円と前日から横ばい。

製油所出荷ルートでは、商社系、広域ディーラーの2日期限の唱えは課税で76.7～77.5円、77.8円以上。未課税玉を扱う商社系、広域ディーラーの唱えは78円前後～78円台後半、79.5円。課税、未課税ともに総じて買い気の弱さもあり、前日からの唱えを維持。一部、課税76.5円前後で買い気を喚起する動きもあったが、これに反応を示す動きも乏しく、市場で表立っている様子もなかった。

【青森・八戸】旧外資系元売り玉、民族系最大手玉、中堅元売り玉をベースに課税では78.5円を挟んで78円台前半～78円台後半。仙台同様に同業他社の動向や原油市況の続落を材料視し、78円割れで買い気を探る動きもあった。未課税玉を扱うディーラーの唱えも78.5～79円前後、79円台半ば。数社が79円割れで下値を探る動きはあったが、動意薄でこれに対する反応も限定された。

○重油

【仙台】A重油は76.0～77.0円、LSA重油は76.5～77.5円といずれも前日から横ばい。

製油所出荷玉に商社系、広域ディーラーの2日渡しから唱えは76.5円を挟んで76～77円台前半

と広範にわたったまま。様子見に退いていたディーラーも新たに参戦する動きもあったが、レンジ内の唱え。動意薄で気配探りに終始していた。

【青森・八戸】民族系最大手元売り玉、旧外資系

元売り玉をベースとした有力ディーラーの2日期限の77.5円を挟んで77円台前半～78円前後。一部、

76円台後半まで下値を探って買い気を喚起する動きもあったが、動意薄で販路も限定された。

◎京浜

○概況

前日に存在感を強めたコスモ石油マーケティング玉取り扱い業者が値上げに動き、市況はいったん落ち着いた。一方、台風11号の接近のほか、製油所の装置トラブルも頻発。さらに中下旬のシルバーウィーク動向、上期決算に向けた数字作り、今冬の灯油市況など、強弱の市況観が交錯しているようだ。

気象庁が発表した向こう1カ月の気温状況によると、関東甲信地区は平年より高めで推移しそうだ。

○ガソリン

【千葉製油所】前日比2.65円高の78.5～79.2円(揮発油税込み132.3～133.0円)。

前日に散見された民族系元売り玉はいったん整理され、同社玉のほか、旧米メジャー系玉、旧外資系玉を取り扱う卸業者間で132円台の売買唱えが広く寄せられた。前日に129円台、130円前後で市場に流れた民族系玉や中堅元売り玉はおおよそ4円前後の値上げが相次ぎ、主役玉からいったん脇役に席を譲っている。懇意先向け限定としてこの日も130円前後の出物を指摘する市場関係者もいたが、前日に比べて拮据りは極めて限られた。

この日は、前日に129～130円で手当てした卸業者がプレミアムを乗せて132円台に販価を置いた動きが目についた。7～8月の市況を鑑み、系列玉に対するプレミアム設定は根強いようだ。

もっとも、134～135円に販価を設定する卸業者も多かったが、8月下旬の仮需や前日の瞬間安値玉を確保済みの卸業者も多く、この水準での動意はなかなか伝わらなかった。足元原油が下振れしていることも響く。

一方、市中調達枠を有する民族系大手元売りは様子見。ただし、民族系最大手元売りは京浜海上市場で2,000kl超の大口買いに動いている。複数製油所の装置トラブルや他社の

トッパー停止なども織り込み、玉確保に動いたようだ。民族系元売りの千葉製油所で8月29日に配管からガス漏れが見つかり、トッパー2基のうち1基を止めている。現在も復旧作業中だか、それほど間を置かずに稼働を再開する見込み。

そのほか、リムトレーディングボードには千葉玉を対象に135円台の取引が複数寄せられた。市中玉に対してやや割高だが、一定の動きは見て取れた。

【八潮】前日比0.05円安の82.1～82.7円(同135.9～136.5円)。

小幅安。卸業者の一部が微調整の下げに動いた。もっとも、製油所玉対比で割高とされ、積極的な動意は見られない。広域系を含めて135.9～136.5円の売買唱えが残り、次の材料待ち。

民族系元売りの千葉製油所装置トラブルに絡んだ転送船の遅れや出荷規制はない。

【川崎製油所】前日比1.75円高の78.7～79.2円(揮発油税込み132.5～133.0円)。

千葉同様、前日の割安玉は整理され、底上げが進んだ。民族系玉をベースに132.5～132.7円でやり取りを進める卸業者が複数見受けられたほか、旧米メジャー系玉を織り込んだ卸業者が133円まで広く出物が散見。前

日までの仮需を踏まえ、133円を超える出物に関心を示す市場関係者は限定的。原油の下げを映し、第2週の系列仕切り改定は大きな動きはないと見る市場関係者も多い。

【横浜】 前日比0.1円安の82.2～83.0円（同136.0～136.8円）。

小反落。八潮同様、微調整の値下げが地場系から伝えられた。もともと、製油所玉対比では割高に位置しており、積極的なやり取りはほとんどなかったようだ。地場系や広域系間で136～136.8円の売唱えが寄せられ、市況を形成している。

【川崎・横浜価格】 前日比0.83円高の134.585円。

【東商取】 バージ10月限は80円（同133.8円）で日中取引を終えた。

○灯油

【千葉・川崎製油所】 いずれも前日比3.0円高の77.0～78.0円。

続伸。民族系元売りの仕切り価格引き上げを受け、1日渡し分で存在感を発揮した同元売り玉の売りが鳴りを潜めた影響だ。民族系元売りルート以外の価格水準はおおよそ変わらず。前日時点で値上げ済みのディーラーが多く、この日も販価を据え置き静観に徹する傾向が強かった。

9月に入り需要期を見据えた灯油調達に関心が向かい始めているものの、例年にくらべ商談のスタートは遅め。足元は月後半の需給の締まりが警戒されつつも、現時点で積極的な買い気は限定的という。陸上の先安観、燃料油補助金政策の先行き不透明感などが背景にある。

1日渡し分では千葉、川崎の両サイドとも77～78円に商談水準が切り上がった。民族系元売り、旧外資系元売りルートでこれらの水準の出物が点在した。目先は週次コストに連動する玉を中心にスポット市況を形成。千葉、川崎とも78円までの売唱えが相応にしたよ

【小売動向】 甲州街道沿いの調布から八王子IC周辺は前週から大きな変化はなく、系列量販店の店頭価格は153～159円に対し、量販PB店は153円だった。

東名高速厚木IC周辺は小幅値下がり。系列量販店の店頭価格は155～159円に対し、量販PB店は154円に設定されている。

資源エネルギー庁がまとめた8月29日現在のレギュラーガソリン小売価格は、東京都が前週比0.4円安の168.1円、神奈川県が同1.4円安の165.5円。

【輸入実績】 貿易統計によると、7月の輸入されたガソリンは川崎港に2万4,939klが荷揚げされている。横浜港や千葉港への入着はなかった。

うだ。

【八潮】 前日と同じ80.0～80.5円。

横ばい。前日時点の価格改定が一巡している。2日渡し分では80円の売唱えが継続。この玉を参考にした80.1～80.5円といった価格提示も広く残り、前日と比較し商況に目立った変化は出ていない。相対的に安い製油所玉に買い手の関心が向かいやすい状況も変わっていない。

【横浜】 前日と同じ77.4～78.0円。

変わらず。前日に引き続き77.4～78円の売買唱えが残る。現時点で原油安の反映は限定的で、具体的な値動きを指摘する声も伝わらず。週末分からの仕切り直しとなりそう。80円超えの提示でマーケットから事実上距離を置くディーラーも引き続きみられる。

【東商取】 東商取10月限のバージ灯油帳入値は前日と同じ78.72円。出来高はゼロ。

【海上市況】 京浜は現在78円程度で推移している。

【小売価格】 資源エネルギー庁によると8月29日現在、灯油の店頭価格は消費税込み18リ

ットルあたり東京都が前週比11円高の2,134円、神奈川県が同2円安の2,048円、山梨県が

同6円安の1,983円だった。

○軽油

【千葉・川崎製油所】千葉の課税玉は前日比4.0円高の76.5～77.0円、川崎が同3.85円高の76.2～77.0円。未課税玉は両センターともに同3.75円高の77.5～78.5円。

前日に残った民族系元売り玉が整理され、各出荷玉がおおよそ横並びとなった。旧外資系玉を取り扱う卸業者から千葉で76.5円、川崎で76.2円の売唱えが散見。

一方、旧米メジャー系玉や値上げ後の民族系玉を取り扱う卸業者間で77円までの売唱えや売買唱えが伝えられ、相場を形成。8月末の仮需や前日の民族系玉を確保済みの市場関係者も多いとされ、積極的に上値を追う買い手は極めて限定的。様子見を含め、77円を超えた出物への関心は薄かったようだ。

特徴義務者向けの未課税玉も上伸。旧米メジャー系玉を取り扱う広域系から千葉、川崎で79円台の提示が残ったものの、動意を伝える市場関係者は見当たらない。旧外資系玉や民族系玉をベースに77.5円までの売唱えが寄せられた。

そのほか、複数の市場関係者によると、東京に本社を置く陸運業者の日本ロジステックが民事再生法を申請したことを受け、今後の市況へ影響などを注視したいとの声が複数から寄せられた。現時点では詳細が見えないため、軽油の関心を強い市場関係者は様子見に徹している。

帝国データバンクによると、日本ロジステックは首都圏各所に倉庫を設置し、倉庫事業を主体に運搬業などを展開。総合物流業者として、2022年3月期は年収入高約405億6900万円を計上していた。

【八潮・横浜】八潮が前日と変わらず79.8～80.5円、横浜も前日並み75.9～76.9円。

八潮、横浜ともに様子見。製油所玉に対し、先行して市況が形成されたこともあり、この日は積極的に動意付く卸業者がいなかった。八潮で79.8～80.5円、横浜で75.9～76.9円といずれも前日水準を維持し、次の材料待ち。

○重油

【千葉・川崎製油所】千葉が前日比1.15円高、川崎が同0.4円高の76.3～77.0円となった。A重油も千葉は同1.15円高、川崎が同0.4円高の75.8～76.5円。

両センターのLSA重油は前日に散見された民族系元売り玉がいったん整理され、底上げが進んだ。旧外資系玉や旧米メジャー系玉を取り扱う卸業者間で76円台の売唱えが拡がり、74～75円台の出物は姿を消している。両地区とも76.3～76.5円、さらに77円まで複数の卸業者が販価を置き、引取り可能な状態だった。

A重油も75.8～76.5円にかけて出物が点在。

【八潮・横浜】八潮は前日から変わらずの77.0～77.5円、横浜は同0.1円安の77.8～78.5円。

八潮は様子見ムードが強く、積極的に動く卸業者はいなかった。製油所玉に対して高めの設定も多く、卸業者間では前日並み77～77.5円の売唱えを維持し、次の材料待ち。

一方、横浜は小幅ながら販価を見直す卸業者が見受けられた。横浜ターミナル玉をベースに77.8～78円、CTT玉を織り込んだ78.5円の売唱えが地場系や広域系から寄せられている。

◎中京

○概況

製油所ではガソリン、灯油が上昇した。コスモ石油マーケティングが仕切りを引き上げたことで安値玉が後退した。9月も品薄感を引きずっており、需給タイト化懸念も根強い。

9号地でも灯油が切り上がった。前日にショートカバーの買いが集まったとみられ、値上げしてオーダーをけん制する動きが出た。一方、ガソリン、軽油は下がった。製油所対比でやや割高に映ったため、さや寄せする売りが出た。ガソリンは輸入玉が順次入ってきているとされるほか、台風11号の影響で需要に陰りも出ている。

○ガソリン

まちまち。製油所出しは上昇した。前日まで猛威を振っていた民族系元売りルートの一週決め玉が実質的に値上がりし安値玉が後退した。品薄に対する警戒感も強く、需給面での強さも目立った。

一方、9号地ではやや弱含んだ。製油所対比で割高だったため、さや寄せが進んだ。輸入玉が順次入港しており、在庫が着実に積み上がっているもよう。

【製油所】前日から1円高の78.7～79.7円(揮発油税込み132.5～133.5円)。

民族系元売りの仕切り引き上げで131円台の売り物が姿を消した。こうしたなか、民族系元売り玉を扱うディーラーや、旧外資系元売り玉の取扱いディーラーが132.5～133.5円で販売を進め、新たな相場を形成した。水面下では、民族系元売りルートから132円までの価格対応も目に付いたが、こちらは買い手が

厳しく限定されていたようだ。

【9号地】前日から0.25円安の79.2～80.2円(揮発油税込み133.0～134.0円)。

タンク系、商社系ターミナルでは、複数ディーラーが133～134円まで対応した。製油所玉にさや寄せし、値下げする業者が散見された。一方、別の商社系ターミナルなどでは有力ディーラーが134.8円で提示したが、買い手の反応は鈍かったという。品薄に対する警戒感からオーダーけん制含みだったようだ。

【先物市況】東商取中京ローリー10月限の帳入値は前日比横ばいの131.3円。

【小売市況】三重県津市では1日時点で、有力独立系SSのフリー価格が8月25日比2円安の150円、全農系SSは同2円安の159円、民族系最大元売り系SS2店舗は同4～5円高の159円、旧外資系元売り地場特約店SSは同6円安の149円、民族系元売り系SSは同横ばいの153円。

○灯油

製油所、9号地ともに上昇した。民族系元売りの仕切り引き上げを受けた。また、品薄に対する警戒感から安値拾いの買いが旺盛だった。

元売り各社が在庫の積み上げを優先し、特約店に対する外販枠の削減を行っているもよう。旧外資系元売りなどは販売枠を上回る受注に対して割増料金を徴収するなどの方法で

8月の出荷抑制を図ったようだ。輸入玉を大量に買い付けたため、元売り玉の前年の引取り実績が小さく、そもそも外販枠が少ない卸業者も多い。9月需給に早くもタイト感が漂っている。

9号地では前日にオーダーが集中したため、この日の早い時間に中途値上げを通知する動きもみられた。

【製油所】前日から1.4円高の77.5～78.3円。

中堅元売り玉を扱う有力ディーラーが77.5円で売り唱えた。77～77.2円での価格対応も残し、受注につなげる動きもみられたが、個別商談の色合いが濃かった。民族系、旧外資系、民族系最大手元売り玉をそれぞれ扱う卸各社は78～78.3円で売り唱えた。ショートバランスのプレーヤーがこうした出物にも積極的に買いの手を伸ばしたようだ。

【9号地】前日から0.45円高の77.9～78.4円。

商社系ターミナルでは、前日に77円台半ばで提示していた有力ディーラーが午前の早い時間に値上げを通知した。前日に想定外のオーダーが集まったとみられ、慌ててオーダー

けん制に動いたようだ。2日出荷分からは複数ディーラーが77.9～78.2円で販売を進めた。

別の商社系ターミナルでは、広域ディーラーが78.3～78.4円でこれに追随した。

【先物市況】東商取中京ローリー10月限の帳入値は前日比横ばいの74.5円。

【小売市況】三重県津市では1日時点で、有力独立系SSのフリー価格が8月25日比1円高の106円、全農系SSは同横ばいの107円、民族系最大手元売り系SS2店舗は同横ばい、ないし3円高の104～107円、旧外資系元売り地場特約店SSは同横ばいの109円、民族系元売り系SSは同横ばいの108円。

○軽油

製油所出しは動きなし。前日までに元売り各社の仕切り引き上げを市場が織り込んだ。上げ一服感から様子見ムードが強かった。一方、9号地はじり安。仮需の反動でオーダーが急減、需給の緩みが出た。製油所玉にさや寄せする動きが広がった。

【製油所(課税)】前日から横ばいの76.0～77.0円。

民族系、旧外資系、民族系最大手元売り玉をそれぞれ扱う複数ディーラーが76～77円と、おおむね前日並み売値でオーダーを集めた。前日は様子见到徹していた旧外資系元売り玉の取扱い各社がやや販売姿勢を強めたことで、前日にはあまりみられなかった旧外資系元売りルートの76円台の売り物が厚みを増した。

【製油所(未課税)】前日から横ばいの77.4～77.8円。

旧外資系、民族系元売り玉、大手商社玉をそれぞれ担いだ複数商社系ディーラーが77.4～77.8円で販売を続けた。割高な海上市場や海外市場と競合するため、販売に慎重なプレーヤーも見受けられた。

【9号地】前日から0.15円安の76.4～77.3円。

商社系ターミナルでは、複数ディーラーが76.4～76.8円で打ち出し、市場をリードした。別の商社系ターミナルでは、有力ディーラーが新たに76.9～77.3円まで対応し、これに対抗した。

【小売市況】三重県津市では1日時点で、有力独立系SSのフリー価格が8月25日比2円安の132円、全農系SSは同2円安の141円、民族系最大手元売り系SS2店舗は同3円高の136～151円、旧外資系元売り地場特約店SSは同2円安の137円、民族系元売り系SSは同横ばいの135円。

○重油

製油所、9号地ともにもち合った。模様眺めムードが強く、市場の売買動意が薄かった。

【製油所(LSA重油)】前日から横ばいの76.2

～76.5円。

旧外資系、民族系元売り玉、大手商社玉などを扱う複数ディーラーが76.2～76.5円で

販売を継続した。

【製油所(A重油)】 前日から横ばいの75.7～76.0円。

【9号地】 前日から横ばいの76.5～77.0円。

商社系、旧米メジャー系ターミナルで複数ディーラーが76.5～77円で販売を継続した。

◎阪神

○概況

スポット市況は製油所出しのガソリン、灯油、課税軽油が強含み。コスモ石油マーケティングがこの日、2～8日出荷分に適用する仕切り価格を引き上げた影響が出ている。未課税軽油、重油はもち合った。前日時点の市況が先行して急ピッチで上昇していた分、目先は週次コストに連動する玉の売唱えが前日並みの水準で残存している。

○ガソリン

【堺製油所】 前日から2.0円高の78.2～79.2円(揮発油税込み132.0～133.0円)。

反発。民族系元売りの仕切り価格引き上げを受け、1日渡し限定で存在感を強めていた仕切り価格の改定日のずれを利用した売りが止まった。月初とあり市中では様子見姿勢のディーラーも引き続き散見。原油安で陸上の先安観が燦り始めた中、自社玉消化のタイミングは「今夜の原油相場を確認してから判断したい」(卸業者)との声もあり、市況は仕切り価格対比で堅調さを維持している。

2日渡し分は民族系元売りの製油所出荷玉、民族系最大手元売りの製油所出荷玉で132～132.5円、ないしは133円といった商談が点在した。いずれも週次コストに連動する玉の売りのようだ。水面下では132円割れの販売対応も見え隠れ。ただ、蔵取り玉でここまで踏み込む売り手は限られている。

向け先によって133円超えの売買も進んでいるが、持ち届けの価格帯を考慮すると売買がやや難しくもなるという。このほか2日渡し分は総じて薄商いと複数の市場関係者が指摘。8月31日～9月1日渡し分で在庫補を補充済みの買い手が多いためだ。

リムトレーディングボードにはこの日、阪神製油所出しで134.8円、135.2円の成約が掲載。2日渡し分を対象とする卸業者間の取引だった。

元売りの市中調達は表面化しなかった。民族系大手元売りも買い気を示さなかったとされている。

【油槽所】 前日から1.0円安の79.2～80.2円(揮発油税込み133.0～134.0円)。

反落。原油相場の下落などが響いた。堺ターミナルでは133～134円の売唱えが聞かれた。櫻島ターミナル出しは133.5～134円で推移。週次コストに連動する玉の流通がない分、油槽所玉の市況は製油所対比で高め。134円が商談水準の上値を形成している。

【届け市況】 EX 換算132～133円程度の商談が聞かれた。量販店向けの安値圏では同131円台前半～131円台後半の売買も一部進んでいたという。

【海上市況】 西日本は現在81円台半ば程度で推移している。

【東商取】 東商取10月限の帳入値はバージが前日と同じ80円(揮発油税込み133.8円)、中京ローリーが同横ばいの77.5円(同131.3円)。

○灯油

【**堺製油所**】 前日比2.75円高の78.0～78.5円。

底上げ。民族系元売り玉の仕切り引き上げを織り込み、旧米メジャー系玉や旧外資系を取り扱う卸業者間でいったん足並みが揃った。

市場では、旧外資系玉を取り扱う地場系が78円に販価を置いたほか、広域系間でも中堅元売り玉を含めて78.5円までの売唱えが広く散見。9月相場に入り、今冬市況を意識する市場関係者も増えつつあり、やや慎重な販価設定も見受けられた。京浜地区では77円台の出物も流れたものの、阪神地区は思いのほか手堅い提示が多かった。

【**油槽所**】 前日比0.5円安の77.8～78.5円。

小反落。前日の値上げに対し、微調整を入れる卸業者が多かった。堺ターミナルでは、

77.8～78円、さらに78.5円の売唱えが広域系間で点在。近隣の地場ターミナルからも77.8円の売唱えが寄せられている。

一方、櫻島ターミナルでは、大手タンク業者が79～80円とやや高めに設定。輸入採算価格が高めに推移しているため、国内販売から海外輸出に意識を向けている。

【**東商取**】 10月限灯油はバージが78.72円、中京ローリーが74.5円で日中取引を終えた。

【**輸入実績**】 貿易統計によると、7月に関西地区へ輸入された灯油は大阪港の494klにとどまった。全国ベースで1万3,145klが荷揚げされているが、前年比でみると74.3%の大幅減。

○軽油

【**堺製油所**】 課税玉が前日から2.5円高の76.0～77.0円、未課税玉が同横ばいの78.1～78.4円。

課税玉が続伸。民族系元売りによる仕切り価格の引き上げを織り込んだ。未課税玉は横ばい。前日時点の市況が先行して上昇していた反動もあり、目先の商況に特段の変化は聞かれない。

2日渡しの課税玉では旧外資系元売りルートで76～76.3円の商談が点在した。インタンク向けのEX換算ではさらに突っ込んだ売買が残り、蔵取り玉の足を引っ張ったとの見方がある。もっとも蔵取り玉では76円台前半までの対応を見送るディーラーも散見。旧外資系元売り、民族系元売り、四国の中堅元売りルートで77円といった売り唱えも広がり、一部成約したようだ。77円超えの商談成立も一部伝わっているが、SS向けを含む届け市況対比で買い妙味を欠くとの指摘が複数寄せられている。

未課税玉は2日渡し分を対象とする特徴義務者向けが78.1～78.4円で推移。民族系最大手元売りの製油所出荷玉を使うディーラーがこのレンジ内で広く打ち出している。見積もり上は78円台後半など78.4円超えの出物も点在。ただ、これらの玉は相対的に買い妙味が薄れやすい。このほか得意先に対しては77円台など課税玉に見合った水面下の特価対応も一部進んでいたようだ。

【**油槽所**】 前日から0.4円安の76.6～77.6円。

反落。製油所玉の水準を意識した販価の修正が表面化した。堺ターミナル出しの課税玉は76.6～77.3円。77.6円超えの課税玉に興味を示す声は聞かれない。76.6円割れの玉を手当て可能なディーラーは少なそうだ。また未課税玉は78～79円程度で推移している。

【**インタンク市況**】 週決め案件では関西圏に地盤を置く大手民間バス向けが届け109円台前半で妥結している。

【**海上市況**】 西日本は現在80円台前半程度で推移している。

○重油

【**堺製油所**】A 重油が製油所出しが前日から横ばいの75.9～76.3円、LSA 重油が同横ばいの76.4～76.8円。

横ばい。前日時点の販価の見直しが一巡した。週次コストに連動する玉を扱う複数の卸業者が前日並みの水準で引き続き打ち出している。

2日渡しの LSA 重油では旧外資系元売り玉を扱うディーラーの間で76.4～76.8円の価格

提示が残った。旧米メジャー系元売りルートでも76.4～76.8円のレンジ内で玉が点在。この日は76.8円までで複数の卸業者が打ち出す、ないしは価格提示を受けていた。他社玉をベースとする76.8円程度の売値も伝わる。

A 重油はLSA 重油の0.5円下ざやを形成している。

【**海上市況**】西日本は現在 A 重油が76円程度、LSA 重油が76円台半ば程度となっている。

◎四国

○概況

白油が強含み。1日渡し限定で流通していた民族系元売りルートのタイムラグ玉が一掃され、商談水準は押し上げられた。重油は小幅安。複数の業者が売れる価格帯に販価を寄せてきており、スポット市況はわずかに切り下がった。

○ガソリン

前日比3.35円高の79.4～79.7円（揮発油税込み133.2～133.5円）。

大幅上伸。民族系元売りルートの仕切り価格引き上げ通知を受け、業者間では値上げが先行した。もっとも民族系元売りの仕切り価格は2日以降から適用されるが、4.3円の補助金増額分は1日から適用されるため、前日の時点では販価を引き下げ売込みを強める業者が散見された。この日、改定日のずれによるタイムラグ玉が消え、スポット市況は上昇となった。

【**坂出**】2日渡し分を対象に、旧外資系元売り玉を扱う業者や民族系元売り玉を扱う業者などは133.2～133.5円の値を示した。133.7～133.8円など、133円台後半の売り物も出ていたが、オーダーが入りやすい水準は133円台

半ばまでだという。ただ、値上げ直後でもあるため、引き合いは閑散としているとの声も寄せられた。

【**菊間**】他社玉を担いだ業者は134.5円の売値を維持したが、134円台は動意水準ではないとの指摘が聞かれた。

【**届け市況**】香川県下の SS 向けが届け133円台後半、EX パイプに換算し132円台後半で見積もりが出された。

【**水島**】民族系元売り玉を扱う業者から1日渡し限定で出していた129.5円の売り物は姿を消した。小売業者向けは EX パイプに換算し131.3～131.5円の売り物が流通している。これらの販価であれば「売れ行きは好調」（商社系）との声が寄せられた。

○灯油

前日比2.0円高の78.5～79.5円。

続伸。1日渡し限定で出回っていた安値圏の出物が姿を消したため、商談水準は切り上がった。

【坂出】2日渡し分を対象に、民族系元売り玉を扱う業者や複数の仕入れ先を持つ業者は78.5～79.5円に値上げ。79円台後半の売り物も出回っているが、季節柄需要が少ないなか、79円台後半の売り物に興味を示す業者はほとんどいないという。一部では78円や78.1円などの売り物の存在も聞かれたが、手当て可能な業者は限定されているようだ。

○軽油

前日比1.1円高の76.3～77.3円。

強含み。仕切り価格改定日の違いから前日まで残っていた民族系元売りルート of 安値玉が消えたため、商談水準は押し上げられた。

【坂出】課税玉では1日渡し分を対象に、民族系元売り玉を扱う業者や旧外資系元売り玉を扱う業者などは76.3～77.3円の売唱え。77.3円までの販価が複数出ており、77.3円を超えると動意が薄いという。一部では、76.3円を下回る売り物の存在も聞かれたが、手当て可能な業者が少ないという。

未課税玉では、民族系最大手元売り玉を扱う業者や旧外資系元売り玉を扱う業者などから78.6～80.7円までの唱えが幅広く出ている。

【菊間】他社玉をベースに組み立てた業者は79.2円を唱え、買い気を探った。

【水島】民族系最大手元売り玉を扱う業者から77～77.3円の売り物が流通している。これらの価格帯であれば、買い気は十分だという。ただ、需要期ではないため、大口のオーダーは入りにくいとの指摘も寄せられた。

【菊間】未課税玉では、複数の仕入れ先を持つ業者が79.2円を唱えているが、79円台は高値圏に位置しているもよう。

【届け市況】香川県下のSS向けが届け108円台前半、EXパイプに換算し75円台前半で見積もりが出された。ほかのSS向けは同107円台前半、EXパイプに換算すると73円台後半に相当する売り物が出回っていた。

【水島】課税玉では、民族系元売り玉を扱う業者は76.2～76.8円を提示し、注文喚起を図っている。これらの価格帯であれば、多少オーダーが入るようだ。

○重油

A重油が76.2～76.7円、LSA重油が76.7～77.2円といずれも前日比0.05円安。

続落。一部の業者からは売れる水準までに小幅に下方修正する動きも見られ、スポット市況はわずかに切り下がった。様子見目的に価格の提示を控える業者もいるようだ。

【坂出】A重油では2日渡し分を対象に、旧外資系元売り玉を扱う業者や民族系元売り玉を扱う業者などは76.2～76.7円に販価を寄せた。一部では76円付近の販価も聞かれたが、出元は判然としなかった。

LSA重油は76.7～77.2円。A重油、LSA重油ともこれらの価格帯に該当しない唱えも聞か

れたが、積極的に商われた様子は窺えなかった。

【菊間】他社玉をベースに組み立てた業者はA重油で76.8円、LSA重油では77.3円の販価を維持したが、オーダーが入りやすい水準ではないという。

【水島】A重油では、民族系最大手元売り玉を扱う業者や他社玉を担いだ業者などが75.5～76円を提示し、売込んでいた。まとまった数量のオーダーであれば、75円で売りに応じる業者がいるもよう。LSA重油は0.5円高。

◎九州（福岡）

○概況

全油種続伸。特に灯油は2円以上の大幅続伸となった。民族系元売りが仕切り価格を実質4.3円引き上げたことが織り込まれた。

複数の市場関係者から、南九州の油槽所を中心に出荷規制の情報が伝わった。台風11号の接近による影響が出始めているようだ。ENEOS宮崎、TOT日向それに門司では一部ルートのガソリンと軽油が8日まで出荷規制中だ。また、新たにTOT八代の第1ルートでは9日まで軽油の出荷が停止。太陽石油の加治木油槽所も全油種9日まで出荷規制がかけられているという。

○ガソリン

【福岡】 前日から0.45円高の80.2～81.1円（揮発油税込み134.0～134.9円）。

小幅続伸。台風11号の接近に伴い、先々の出荷規制などを考慮して売りにはやや慎重な姿勢を示す業者が散見された。前日まで複数の業者から伝わった133円台の出物は、限定的な売り物になっているようだ。

2日渡しでも東浜を中心に134～134.5円の売唱えが複数の業者から聞かれた。また、前日に高値圏の売唱えを示し様子見に退いていた業者は、売り意欲を示し始めた。東浜や西戸崎では134.9円が見積もりベースで提示された。134.9円であれば一定の動意がある

もよう。135円台の出物も流通しているものの、134円台の玉に比べると動意は鈍いもよう。

【他地区】 北九州では134～135円まで幅広い売唱えが聞かれた。特に134円台後半で買い気を探る業者が多い。佐世保は137.1円、八代は134.8円が安値圏に位置。

宇部は135.1円の売唱えが伝わった。卸業者向けの売りを手控え、小売業者向けの売買に注力する業者もいた。小売業者向けであればEXパイプに換算し131円前後の玉が流通しているという。

○灯油

【福岡】 前日から2.1円高の79.3～79.9円。

大幅続伸した。民族系元売りの仕切り価格改定を受け、前日のタイムラグ的な出物が姿を消したため相場は押し上げられた。

2日渡し分を対象に東浜出しでは79.3～79.5円の売唱えが示された。西戸崎でも79.5～79.9円、荒津では79.7～79.8円の玉に厚みがある。79.3円を下回る玉も聞かれたが、向け先は極めて限定されていた。足元は79円台後半までの玉を複数の業者から調達可能な

ため、80円台の玉は積極的にやり取りされにくいようだ。

【他地区】 北九州では79.5～79.9円、80.5円を商社系や広域ディーラーが示した。佐世保は81円、八代は79.5円で買い気を探る業者がいる。

宇部では78.4～78.6円と78.5円を挟んだ水準の売唱えを複数の業者が提示。もっともこれらの価格帯の玉への動意は乏しいという。

○軽油

【福岡】 前日から0.65円高の77.3～78.0円。

上伸。灯油同様に前日まで流通していた民族

系元売りルートと思しき玉が後退したことで、相場は切り上がった。ただ一部では販価を下方

修正し売込みに動く業者も散見。このため灯油のような大幅な引き上げにはならなかった。

課税玉の場合、西戸崎で2日渡しを対象に77.3円の販価を示すディーラーが現れた。他社玉をベースに販価を組み立てた業者は77.6～78円で追随している。東浜では油槽所玉を扱う業者などが77.5円で買い気を探っていた。荒津出しでも広域ディーラーが78円を売り唱えている。78円を超える価格帯の玉も流通しているものの、77円台前半の玉が出始めたなかで購買意欲を示す業者は少ないもよう。

未課税玉では79～80.2円が見積もりベースで提示されている。これらは西戸崎、荒津、東浜で示された。引き続き調達量の多い業者には79円付近の玉も出回っているもよう。

【他地区】北九州では78～78.5円を広域ディーラーが提示している。佐世保は78.1～78.2円が安値圏に位置。八代では77.3円と福岡の下値並みで買い気を探る業者がいた。

宇部では76.5～76.8円の売唱えが複数のディーラーから伝わった。

○重油

【福岡】A重油は77.1～77.6円、LSA重油は77.6～78.1円といずれも前日比0.75円高。

A重油は切り上がった。民族系元売りの仕切り価格引き上げを受け、同元売りルートの玉を扱う業者の売り気が後退している。

西戸崎では77.1～77.6円を広域ディーラーや他社玉を織り込んだ業者などが売り唱えた。いずれも見積もりベースで示されている。荒津出しでも複数の業者が77.3～77.6円を提示し、買い気を探った。足元は77.6円までの玉に厚みがあるため、77.6円を超える価

格帯の玉が活発にやり取りされた様子は窺われなかった。

LSA重油も上伸。商談水準は77.6～78.1円となっている。相場はA重油比0.5円の上ザヤを形成して推移した。

【他地区】北九州では77.5～78円の玉に厚みがある。佐世保は77.7円、八代は77.1円のほか78.1円の売唱えが伝わった。宇部では76～76.8円を広域ディーラーなどが提示している。北九州、八代、宇部のLSA重油はA重油比0.5円高。

◎マーケットニュース

○コスモ石油マーケ=2日以降の基準価格、全油種で引き上げ

コスモ石油マーケティングは1日、2～8日出荷分に適用する基準価格を全油種で実質4.3円引き上げると特約店に通知した。この価格は1～7日に支給される補助金単価37.1円を含んだもの。原油コストを基に算出した基準価格は前週比で9円の引き上げだった。前週の補助金支給額32.4円から、今週の補助金が4.7円増額されたため、実質4.3円の引き上げとなった。

○コスモ石油=千葉製油所第1トッパー、ガス漏洩で稼働停止

8月29日午後7時ごろ、コスモ石油の千葉製油所第1トッパー（日量7万5,000バレル）付近の配管からガス漏洩が見つかり、稼働を止めた。同社関係者が1日、明らかにした。復旧作業中で再開は未定。海陸出荷には影響がなく、第2トッパー（日量10万2,000バレル）は稼働中。

千葉製油所では8月13日、流動接触分解装置（FCC）周辺で火災が発生し、現在も稼働を止めている。

○エア・リキード=伊藤忠と24時間営業の水素Sを福島に開設

仏エア・リキードは1日、伊藤忠商事、伊藤忠エネクスと福島県本宮市に、日本で初となる24時間・年中無休の水素ステーションを開設すると発表した。従来のステーションでは、水素供給量の問題から営業日や時間帯が限られており、利用者は来店前に予約が必要なケースもあった。このため気軽に立ち寄れないなど、ステーションの利便性の低さが水素車普及に際してデメリットの一つになっていた。

今回新設されるステーションは、乗用車やバスだけでなく、今後の増加が見込まれる小型・大型トラックなど商用車の需要に対応する。エネクスフリートが現在、所有・運営するフリートステーションに併設され、敷地面積7,000平方メートルの中には2レーンのコンプレッサーを設置、複数車両の同時充填が可能だ。開業は2024年前半を予定している。

○陸上入札=滋賀県湖北広域行政事務セ向けLSA重油、先月比6.7円安で落札

滋賀県長浜市が30日開札した湖北広域行政事務センター向けLSA重油24klを対象とする競争入札は、届け83.71円で化城ペガサスが落札した。二番札は油七商店が89.1円だった。納期は9月。

8月24kl分は、届け90.42円で油七商店が落札している。

○陸上入札=オホーツク教育局紋別地区他向けA重油、届け83円台で落札

オホーツク教育局が31日開札した管内各地区向けA重油251.998klを対象とする競争入札は、届け83.6円で落札した。詳細の落札結果は以下のとおり。

オホーツク教育局				
納入先	油種	数量(kl)	単価(円・税抜)	落札者
ケ A重油その9（紋別地区）	A重油	58	84.99	ミナミ石油
コ A重油その10（興部地区）		49.999	87.29	ミナミ石油
サ A重油その11（遠軽地区）		97.666	81.4	手塚興産
シ A重油その12（佐呂間地区）		46.333	82.29	ミナミ石油
	合計	251.998	83.6	

単位:㍲/円

◎お知らせ

○「第7回立ち寄りセミナー ～初秋編～」のお知らせ

リム情報開発はこのたび、季刊誌「エネルギー通信13号」の発行に合わせ、オンラインセミナーをオンデマンドで開催いたします。脱炭素化への取り組みを中心に、エネルギーの最新動向をお伝えいたします。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

◆テーマ：コロナ禍、ロシア侵攻のさなかで、エネルギーは

◆日時：9月13日（火）～15日（木） 10時～21時 オンデマンド配信第1弾

9月20日（火）～21日（水） 10時～21時 オンデマンド配信第2弾

9月27日（火） 10時～21時 オンデマンド配信第3弾

※いずれの日時も同じ内容で配信します。

◆配信形式：お申し込みいただいた方には、9月12日（月）までに動画視聴URLと視聴方法をメールに

てご連絡します。配信時間中はご自由にご視聴いただけます。

※ご利用の端末や通信環境によっては正常に視聴できない場合がございます。

◆参加費：5,500円/名(税込み、資料費込み)

※オンデマンドでご視聴されない方で資料をご希望の方は、DVDと併せて5,500円でご提供します。

請求書に掲載の所定口座へ、9月9日(金)までにお振り込みください。資料を申し込んだ方には、お支払い確認後、事前にメールにてお送りいたします。参加者には、リムが発行する季刊誌「エネルギー通信」(定価5,500円、税込み)の8月20日号を無料で進呈します。

◆お申し込み：下記のリンクより9月7日(水)までにお申し込みください。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat03/2022/1722945.html>

【問合せ】 営業研修班 電話：03-3552-2411 E-Mail: info@rim-intelligence.co.jp

〇バイオマスレポート英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は6月2日、バイオマスレポート(週刊)の英語版を発刊いたしました。日本や韓国など北東アジアでも発電燃料として需要が高まっている木質ペレットやPKSといったバイオマス燃料に関する情報を、海外のご購読者にもお届けいたします。

- 木質ペレットとPKSの東南アジア積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットの北米積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSの日本着価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSのフレートとマーケットコメント
- 日本や韓国の需要家による買付け入札情報

内容のお問い合わせ、購読のお申込みは、リム情報開発バイオマスチームへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/biomassEnglishJp/>

Tel: 03-3552-2411

Email: info@rim-intelligence.co.jp

お申し込み >

試読 >

◇弊社ウェブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をういて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86)10-6498-0455, Fax: (86)10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[上海支社]

Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2022 RIM INTELLIGENCE CO.